

10月26日(水) 本年度第16回(通算2608回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル
『釧路の地域発展を考える』 担当/プログラム委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・小松正明様 (釧路市副市長) ・畠山優那さん (釧路北RAC)

☆メイクアップ

10月15日	能登信孝君、田中和紀君	(北見東RC 50周年)
10月20日	森山義文君・小林裕幸君	(釧路RC)
10月25日	坂入信行君	(釧路ベイRC)

☆出席報告【会員総数66名 免除11名 出席計算に用いた会員数66名】

本日の出席者 35名 出席率 53%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 313,000円)

- ・小松副市長本日は宜しく願います
 - ・誕生日ケーキありがとうございました
 - ・結婚記念日、花束ありがとうございました
 - ・入会記念日です。これからも宜しく願います
 - ・4クラブ合同例会お疲れ様でした
 - ・合同例会ご苦労様です
- 田中和紀君、小野寺英夫君
新妻繁市君
富樫孝之君
徳山淳一君
布目九一君
平澤利秀君
釧路RC、釧路西RC

☆会長挨拶
《能登会長》

《小野寺副会長》代読



今日の例会は、釧路市副市長の小松正明様に「釧路の地域発展を考える」をテーマでお話をさせていただくことになっております。小松副市長さんには大変ご多忙のなか講演の承諾をさせていただき有難うございます。

私は会長方針として「地域発展に貢献」のテーマのもとに一年間クラブ運営をしております。私は建築関係の仕事をして生計を立てていますが、年を追うごとに厳しくなっているのが現状です。改めて自分のすむ地域を見つめ直し、地域の活性化に何が出来るかを皆さんと共に小松副市長さんのお話を聞き、考えてみたいと思います。

また今月は米山月間になっております。ジャンチブ校長先生のお話を聞き米山奨学基金の重要性を知っていただけたと思います、ご協力を改めてお願いいたします。

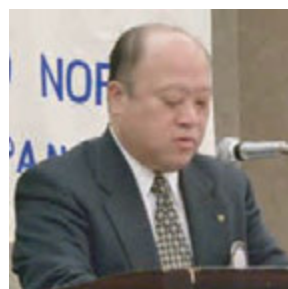
☆幹事報告
《田中幹事》



- ①アクトより9月の例会報告、11月の例会の案内、そして、函館で開催される第10回北海道ローターアクト交流会のご案内が届いております。
- ②北見東RCより創立50周年記念式典の出席に対しての礼状が届いております。
- ③桜田ガバナーエレクトより事務所開設のご案内が届いております。
- ④『釧路の教育を考える会』より『くしろ学力向上提言書 2011』が届いています。
- ⑤ガバナー事務所より 10/24～10/28の5日間オンラインで100米ドル以上をポリオプラスに寄付した方は認証額を2倍とするキャンペーンの連絡がきてます。
- ⑥吉田ガバナー補佐より釧路交響楽団協力会入会の再度の依頼です。
- ⑦まず皆さんにお詫びいたします。11月5日の釧路北ローターアクトの創立40周年記念式典の登録料についてですが、参加者のみの登録料ということで案内を出させて頂きましたが、これは私のミスで北クラブ会員全員登録となります。申し訳ありませんでした。登録料についてはクラブより支出させて頂きます。
- ⑧今月は米山月間、来月は財団月間ということで皆さん何かと入り用ではあろうかと思いますが是非、会員の皆さんの温かいご寄付を宜しくお願い致します。



☆講師
釧路市副市長小松正明様



☆新妻プログラム委員長

1. 人口減少と経済の低迷～デフレスパイラルの恐怖

人口減少と経済の低迷、人口減により地方交付税も減少、資産価値の減少、経常収支比率の悪化、1800円/20万円の意味、やりたいことができない財政構造からの脱却、過去の始末、現在への対応、未来への投資のバランス、財政健全化プランと都市経営戦略プランの時代へ、生き残れる町は「稼げる町」と「気づいて行動に移せた町」の二つ

2. 都市経営戦略プラン～行政管理から都市経営へ

市役所を変える改革として、

①仕事を分かりやすく、②組織を活かす、③資産としての職員、

④評価を効果的に、⑤資産を有効に活かす、⑥主役は市民、

という六つの提言先行取組として、副市長の補完体制整備、公有資産マネジメント、債権管理マネジメント

《釧路の政策展開・発信》産業と雇用創出、人口減少に対応した都市経営、独自財源、地域分析力向上、広域生活経済圏の中核都市としての役割

3. 国際バルク戦略港湾指定とその意味

港の水深をより深くして大きな船の入港を可能に(現在13m→14m→16m)

【早く・大量の輸送】で北米からのバルク穀物(トウモロコシ)の価格抑制効果、パナマ運河に一番近い港、背景は東アジアの経済拡大と食生活の向上・高タンパク化、釧路の後背地でのメリット拡大へ、食の日本ブランド・北海道ブランド・道東ブランド、酪農・乳製品・畜産の高付加価値化&一大基地化→稼げる地域に磨きをかける

4. 観光振興～台湾との関係性強化でタンチョウ・まりもを再びキラークンテンツに

ビッグと貴花のペアが10月30日に台北動物園一般公開、台湾(台北)との関係を強化、特別天然記念物のタンチョウを送る「生息域外繁殖事業」、日本のタンチョウへの強い憧れ、8月末の先遣隊訪問時に王金平立法院長への挨拶、「風雨故人来 艱難見真情」に対する思い、世界で最も東北大震災への義捐金が多い台湾(200億円超)、チャーター便の復活、釧路日台親善協会設立、来年はまりもとともに特別天然記念物指定60周年、観光、来客誘致などとの有機的連携で盛り上げる、10月29日(日)の北海道横断自動車道『夕張～占冠間』開通、道東へ目を向けさせるチャンス

小松正明ブ「コグF北の心の開拓記」.Facebook登録中